

平成20年4月4日

第48回 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時 平成20年3月27日
2. 開催場所 株式会社 奈良シティエムコミュニケーションズ
3. 委員総数 7名

出席委員数 6名

出席委員の氏名 佐久間 重彰、藤丸 正明、藤井 和美、森元 賢治、滝直子、
玉置 知子

欠席委員の氏名 内田 美子、

放送局側出席者 中川 直子、大道ラン

4. 議 事 番組審議
その他

5. 議事の概要 番組審議 試聴番組について説明

「大和のむかしばなし」

毎週金曜日午前7時15分(再放送は同日午後6時)から15分間の番組です。語り部はナビータならのパーソナリティもつとめる島田真智子。奈良の昔話を、よりわかりやすく楽しく伝えようと、役になりきって紹介しています。今回は1月11日の放送分です。ご感想をお聞かせください。

「フォークな書齋」

市民参加番組時間枠での放送で、毎週土曜日午後1時(再放送は木曜日午後10時)から30分間の番組です。団塊の世代の岩崎昌樹・稲垣千果夫が1960年から70年代にかけて一時代を築いたアメリカン・モダンフォークを解説します。今回お聞きいただくのは、2月16日の放送分です。ご意見をお聞かせください。

6. 審議内容

番組審議

(1) 番組試聴

委員よりの意見

○「大和のむかしばなし」

パーソナリティーがすごくはっきりした口調で話しているので聴きやすかったと思います。役になりきってお話しているので、面白く聴けました。

出だしの音楽が幻想的なのに、語りは平坦で単調で感情がなく残念でがっかりしました。昔話（民話）を語る口調が合っていないと思います。ミスキャストでは？

BG 音があわず、内容が頭に入ってきませんでした。企画はよかったと思います。伝承に対する解説もあれば、行ってみたいなあというようなイメージをもっと作ることができると思いました。

奈良の昔話は知らなかったので、地元のことを知る事ができるし、いい番組だと思いました。もう少し声に深みというか落ち着きがあったら、より雰囲気ができるのでは...と感じました。

奈良県の昔話が聞けて楽しい番組だと思います。バックで流れている音楽は斬新で良いのかもしれませんが、日本らしいほっこりした音楽が話しに合っている気がします。音楽だけが気になりました。

少しの関西弁まじりのお話に、親近感を感じることができました。15 分間というのも聞きやすい時間だと思いました。

あの方言が番組全体をあたたかい雰囲気に包んでくれていると思います。最後の「こんでおしま～い」が非常によかったと思いました。

○「フォークな書齋」

男性二人のパーソナリティーのトークの口調が聴いていて、淡々としているように感じました。

いい感じのなごめる時間に浸ってられる番組ですね。トーンがとても落ち着いていていいです。二人の声の抑揚が合っていて、耳にこちよいです。

曲の説明をしている男性は、フォークに詳しく好きなんだなーと感じましたが、相槌を打っている男性は、解説をしている男性に話しに興味がないのかと思うほど、そっけない感じを受けました。

とても専門的な番組でした。私にはよくわからなかったのですが、その時代の方々はずっと思い出がいっぱいで、楽しいのだらうと思いました。

団塊の世代にちょっと遅れている私としては（1964 年生まれ）「ん？何？」って感じでした。でも、何かちょっと“なつかしい”感じはしました。

フォークといえば、PPM などのようにポピュラーナンバーが耳になじんだ時代ですが、ここではマニアックなナンバーが紹介され新鮮さを感じました。フォーク黄金時代にタイムスリップした思いで聴けました。

○その他、番組についてのご希望、ご意見
なし

7. 会社からの答申

ご意見を今後の番組づくりの参考にさせていただきます。

8. 審議機関の答申または、改善に対してとった処置およびその年月日

パーソナリティに対し、議事録の配布（4月上旬予定）

9. 審議機関の答申または、意見を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

第48回番組審議委員会議事録は、事務所と一般見学者スペースに据置、
また、当社ホームページ（<http://www.nara.fm>）および放送にて4月上旬
公表。

10. その他参考となる事項

なし